会　長　挨　拶

本日は北斗会解散総会に多数のご参加をいただき真にありがとうございました。

第７期生会は、本日令和７年７月７日をもって解散します。解散にあたり一言ご挨拶申し上げます。

我々は今から６６年前の昭和３４年４月に防衛大学校に入校して以来、同じ釜の飯を食い、切磋琢磨しながら人生の大部分を国防という任務に邁進してきました。そして立場はそれぞれ違っていても国を守るための貢献がいささかでもできたことは、密かな誇りであり満足すべき人生であったと言えるのではないでしょうか。

退官後も多くの同期生が民間において活躍する傍ら、趣味やボランティア活動等、充実した日々を送ってこられました。その一端は期生会ホームページの「同期生紹介」で１５名の方々が紹介されていますが、真に目を見張るような活躍ぶりに敬服しまた元気をもらっているところです。

これまでの間、北斗会は歴代会長を中心に毎年親睦を深めるとともに記念誌の発行やホームカミングデイ等思い出に残る事業を行ってきました。

一方において、181名、約35％の同期生が既に鬼籍に入り、この場で顔が見られないことは真に残念な現実であります。この中には若くして職に殉じられた３名の同期生も含まれており、改めて哀悼の意を表したいと思います。

さて、解散以降のことについて述べたいと思います。

本日をもって期生会の活動はすべて終了します。ただし、ホームページの維持は現理事の龍岡資臣、佐藤三征両君に、訃報通知は現理事長の中村暁君他にお願いしボランティアとして可能な範囲で継続していただくこととなっています。適時に情報が届かなないこともあると思いますが可能な範囲でご協力をお願いします。

ついで同窓会との関係です。個人が同窓会員であることは終身変わりませんが、期生会を代表する代議員が廃止され、同窓会本部に指定窓口会員正副を登録するほかは組織としての繋がりはなくなります。

指定窓口会員は慣例上、最後の会長私と理事長の中村暁君が当たることになっていますが両名が活動困難になり代替者がいなければ窓口も終了となります。

防衛大学校との関係は、毎年開校祭の初めに、学校長から殉職者の献花式へ各期代表者１～２名が招待される制度は持続されます。どなたでも代表になれます。参列者名を指定窓口会員から同窓会本部へ通知しますので希望者は毎年6月ごろまでに連絡頂きたいと思います。なお今年は空部会長の田中伸昌君が参列の予定です。

期生会保有資産については、努めて還元の方針で進めてまいりました結果、本総会終了後数万円の残金が生ずる見込みであり、これは全て既定通り同窓会へ寄付することになります。決算報告については7月末日までにホームページ上で行うこととしていますのでご確認ください。

また保有するパソコン1台は、不用決定し今後もホームページ維持をお願いする龍岡理事に処分を一任することが決まっております。

終わりになりますが、私たち陸上要員は昔、幹部候補生学校の戦闘訓練において、突撃線に近づくと区隊長から「**じ後の前進は各個前進、各個に前へ！**」と号令されたものです。それまでのように上から指示や支援を受けることなく地形、戦況を自ら判断して前進せよという意味でした。私が最初にこの号令を想起したのは、自衛隊を退職するときでした。そして今回は2度目のそして最後の区隊長の号令が聞こえます。健康な人も療養中の人も人生最終目標に向かって思い残すことなく各個前進していきましょう。諸兄のご健闘を祈念しています。　　　　永年ありがとうございました。

令和7年７月７日　　　　　　第７期生会（北斗会）会長　杉　田　明　傑